

2019年6月7日

社会福祉法人 井の頭会 2018年度事業報告

国の社会福祉制度改革に伴い人員確保のための施策として処遇改善策が出されたが、両施設とも保育者の人員確保にはかなりの苦勞が伴い、いまだに人員不足が改善されたとは言い難い困難を抱えている。

その中でも賃金では運用面で改善できるようにし実施してきた。

又宿舎借り上げ等職員が利用できることは最大限活用し、多くの職員が利用できている。

ただし期間が決まっているため今後の国や自治体への運動を強めていく課題が残る。

I 東京都の監査を受ける

井の頭保育園と法人は2018年度東京都の監査を受ける。土地・建物等と役員手当の支給等一部改善を指摘されたが、すぐに改善し指摘事項にはならず無事終えることができた。

II 両施設とも正規・パート保育者の人員確保に両施設長が奔走するが、なかなか見つからず苦勞している事が続いている。定数改善や真の処遇改善を国が行うことが今こそ急務である。

III 井の頭の定員変更に伴う施設の改修が終わったが新たな問題がおこり、セキュリティー工事等引き続き行っている。

松原保育園は改築に向け職員で改築委員会を立ち上げ着々と進めている。

IV 井の頭保育園の創始者の福知トシ氏と仲間たちの疎開保育園の映画が出来上がり井の頭保育園の職員を中心に映画の取り組みを行う。又、斉藤理事が中心となり作者を読んで職員、卒園児父母、在園児父母の学習会を行った。

V 常任理事会の役割を見直し両施設のことがよりつかめるように発展的に法人事務局会議を両施設長も参加していく方向性を(2019年より)持つ。

VI 法人の内容を伝えていく機関紙にすべく提案し、今まで井の頭保育園で年2回発行していた「井の保通信」を発展的に法人の機関紙に変えて両保育園の様子を職員と保護者、関係者に配布できるようにしていく。

VII 後援会の取り組みを2019年強めていく